

第 264 回塑性加工技術セミナー

(プロセッシング計算力学分科会 第 78 回セミナー、

日本鉄鋼協会数理モデリングフォーラム 2024 年度第 1 回研究会)

「自動車メーカーにおける板金プレスシミュレーションの活用事例と将来展望」

日 時： 2024 年 11 月 1 日(金) 13:15~17:00

会 場： 大同大学 S 棟 S302 教室 【〒457-0819 愛知県名古屋市中区竜春町 10-3】

交 通： 名鉄 大同町駅 徒歩 3 分

主 催： 日本塑性加工学会 (実行：プロセッシング計算力学分科会)

共 催： 日本鉄鋼協会数理モデリングフォーラム

協 賛： 日本鉄鋼協会、日本複合材料学会、日本材料学会、先端材料技術協会、軽金属学会、日本金属学会、精密工学会、日本機械学会、素形材センター、日本アルミニウム協会、日本計算工学会

趣 旨： 板金プレスシミュレーションは、多種多様な商用ソフトウェアが提供され、自動車メーカーから中小部品金型メーカーまで幅広く活用されており、材料モデルなどの技術開発に対する塑性加工研究者の貢献も大きく、日本のモノづくりの土台となっている。そこで本セミナーでは、自動車業界のトップメーカーの板金プレスシミュレーション担当者より現在までの各社特徴的な活用事例等をご紹介頂き、将来に向けて求められる技術課題等をお話頂き、今後の研究開発の指針としたい。

プログラム： 開会の辞(13:15~13:20)
司 会

プロセッシング計算力学分科会 主査 黒田充紀 君
日本塑性加工学会 企画委員 眞山 剛 君

| 時 間 | 内 容 | 講 師 |
|-------------|--|--------------------|
| 13:20~14:10 | 高意匠を実現するためのプレス成形シミュレーション高精度化の取り組み～面ひずみやシワ、線ズレなどの不具合を高精度に予測するためのプレス成形シミュレーションの取り組み事例紹介～：近年の自動車の外板デザインはサイドに大きく張り出した意匠や凹凸が入り組んだ意匠などプレス成形の難易度が高くなっており、金型製作前にプレス成形シミュレーションでの造りこみがより重要度を増している。そこで本講演では高意匠を実現するためのプレス成形シミュレーション技術と評価技術について紹介する。 | トヨタ自動車株 一条 尚樹 君 |
| 14:10~15:00 | 魂動デザイン/人馬一体を具現化するCAE活用事例の紹介： マツダが掲げるコーポレートビジョンを実現するためにクルマのボディに求められることは、圧倒的な見映えと走る歓びの体感をお客様にご提供することである。本プログラムではモデルベース開発を基本としたプレス領域 量産準備業務プロセスのうち、机上での良品条件の造り込みに対するプレス成形CAEの活用事例を紹介する。 | マツダ株 西本 幸弘 君 |
| 15:00~15:20 | 休 憩 | |
| 15:20~16:10 | スズキにおけるプレス成形解析の活用事例：弊社では、開発中の手戻り業務を削減し開発日程を短縮するため、開発の初期段階で性能、品質を作り込むフロントローディングを進めている。それに伴い、プレス成形解析も開発の初期段階から行われるようになり、ワレ、シワを評価するだけでなく、外観品質向上や遅れ破壊を防ぐ活動に広がっている。そういった状況の中で、弊社がどのようにプレス成形解析を活用しているかを紹介する。 | スズキ株 岡崎 泰弘 君 |
| 16:10~17:00 | 総合討論と名刺交換会 司会 熊本大学 眞山 剛 君 | |

定 員：100 名 (定員になり次第締切ります。)

参加費：
(消費税
10%込)

| 正会員・賛助会員・ 協賛学協会個人会員 | 学生会員 | 一般 (会員外学生は半額) |
|------------------------|---------|------------------|
| 8,000 円 | 4,000 円 | 12,000 円 |

・参加費はいずれもテキスト代を含みます。

テキスト：当日レジュメを配布いたします。

申込方法：学会ホームページ(<http://www.jstp.or.jp>)【行事のご案内】のページよりお申し込みください。

請求書、参加証等をお送りします。

注 意：講演中の撮影・録音は禁止します。最新の情報は学会ホームページでお知らせいたします。

プロセッシング計算力学分科会会員、日本鉄鋼協会正会員の方は、ホームページでの申込の際にその旨を備考欄にご入力下さい。